

SIP-adus Workshop 2020



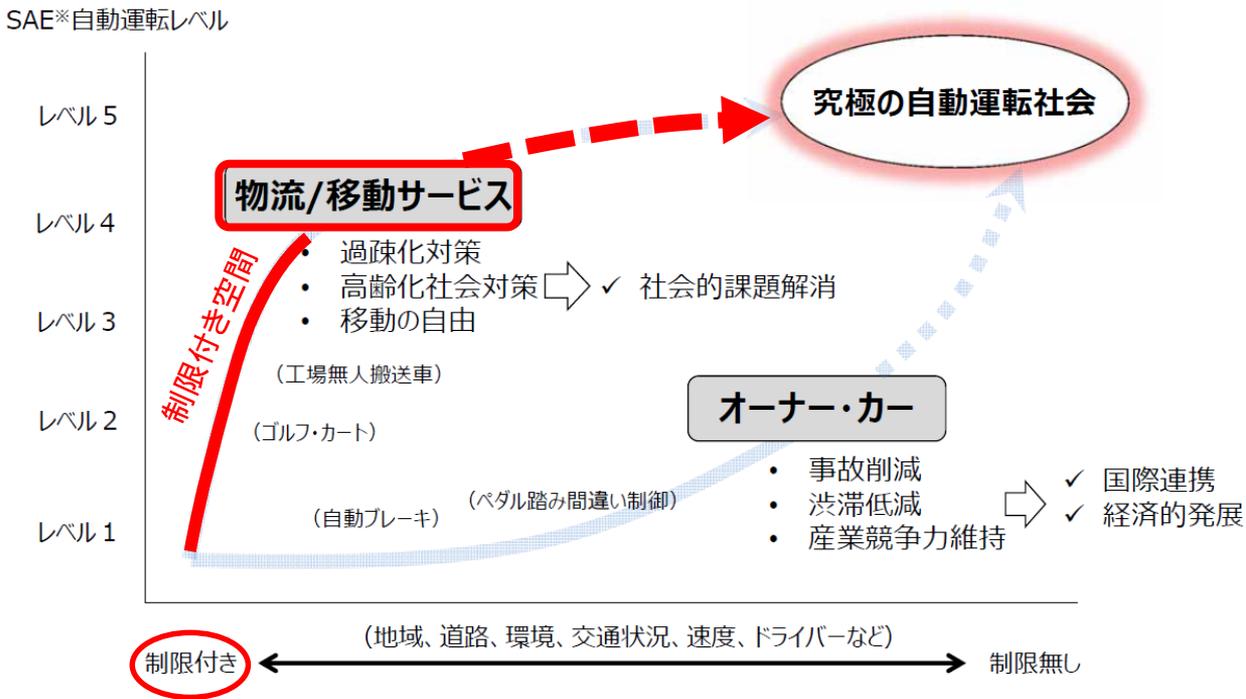
SIP-adus Workshop2020 Service & Business Implementation

サービス実装推進WG 副主査(～2020.10)
国際連携チームリーダー SBI担当
川本 雅之



サービス実装推進セッション領域

第1期SIPの次世代都市交通WGの流れをもつサービス実装推進セッションでは、公共交通の自動運転とサービス、および自動運転の社会受容性に関する活動を対象としています



サービス実装推進セッションのトピックス

自動運転技術が社会に実装される際のサービスや課題について取り上げていきます

人と自動運転モビリティの親和性

社会受容性醸成

受容性



自動運転サービス
実装推進

すべての人に

障害者を合理的に支援する
高度運転支援技術



障害者に優しい自動運転バス

街とインフラ

自動運転公共交通システムと
親和性が高い街づくり

地方創生

地方や過疎地における公共交通
実証実験



本日の講演内容

自動運転シャトルサービスの受容性と社会実装の効果

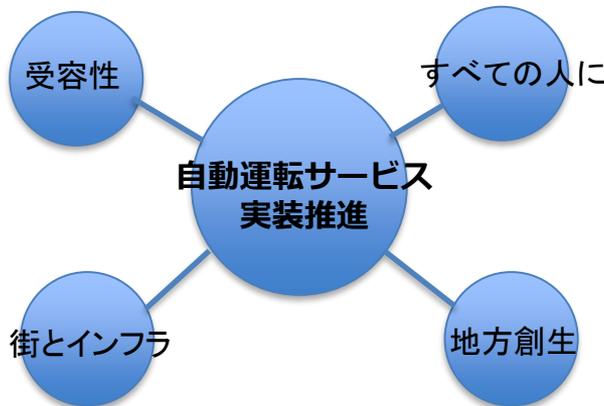


フィレンツェ大学
アレッサンドリーニ教授

視野障害を有する者に対する高度運転支援システムに関する研究



理化学研究所 高橋政代先生



人とモビリティの社会的距離に関するリスクと受容性研究



筑波大学 伊藤 誠 教授

シンガポールの自動運転と街づくり

シンガポール 陸上交通庁
ラム ウィー シャン氏



まとめ
三菱総研/SIP-adus 外山友里絵

サービス実装推進セッションにおける新たな取組み

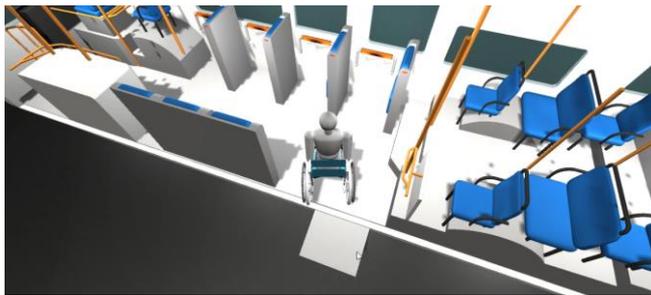
自動運転化 ⇒ (課題) 介助者不在

(利点) 先読み運転によって縦横の揺れが少なくなる

視覚、聴覚、四肢等に障害のある方々にも利用しやすい自動運転バスを研究

車室内の配席や動線、車椅子固定方法等について検討

⇒ 障害のある方々、自工会、バス開発者、バス事業者とともに議論し
ガイドラインを作成



最新のバーチャルリアリティ技術や実車内モックアップを作製し
体験、体感しながら議論を進める

来年度のワークショップで報告予定